

2023年10月26日

各位

会社名 株式会社MCJ
 代表者名 代表取締役社長兼COO 安井 元康
 (スタンダード市場 コード番号:6670)
 問合せ先 経営企画室 広報 IR 担当
 ir-otoiawase@mcj.jp

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、2023年5月12日に公表いたしました2024年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、期初予想時点では前年同期比減収減益を想定しておりましたが、売上高については期初予想に概ね沿った前年同期比減収ではあるものの、各利益面では期初予想比で大幅な増益を達成する見込みであり、営業利益は過去最高であった2021年3月期を上回り、第2四半期(累計)としての過去最高益を更新する見込みです。

記

1. 2024年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日~2023年9月30日) (金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
前回発表予想(A)	90,800	6,900	6,900	5,000	50円89銭
今回修正予想(B)	88,440	8,582	8,528	6,227	63円38銭
増減額(B-A)	△2,359	1,682	1,628	1,227	—
増減率(%)	△2.6	24.4	23.6	24.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	95,248	7,249	7,391	5,190	52円88銭

(ご参考) 2023年3月期第2四半期実績対比

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株あたり 四半期純利益
前期第2四半期実績(C) (2023年3月期第2四半期)	95,248	7,249	7,391	5,190	52円88銭
前回発表予想(A)	90,800	6,900	6,900	5,000	50円89銭
今回修正予想(B)	88,440	8,582	8,528	6,227	63円38銭
増減額(A-C)	△4,448	△349	△491	△190	—

増減率 (%)	△4.7	△4.8	△6.7	△3.7	—
増減額 (B - C)	△6,807	1,332	1,136	1,037	—
増減率 (%)	△7.1	18.4	15.4	20.0	—

2. 修正の理由

当社グループの属するパソコン市場は、急速な円安傾向の継続等に伴うパソコン製造に係る原材料・部材価格の高騰の影響をはじめ、調達環境には引き続き不透明感が継続しており、過去数年にわたり出荷台数ベースでの前年同期比マイナス傾向が続く等、需要サイドにおいても継続して軟調に推移しております。

また、当社グループが事業展開を行う欧州各国及び東南アジア各国においては、ロシア・ウクライナ問題の長期化や物価上昇圧力の継続に加え、先行き不透明感から現地企業による設備投資や個人が消費を控える動きが続いており、前年度と同様に予断を許さない状況が継続しております。

このような状況下、本年度につきましても前年下半期から継続して、出荷台数や売上確保よりも利益重視のスタンスを強化してまいりました。

国内パソコン関連事業におきましては、特に需要の高い製品セグメントに注力した製品展開及び営業施策、Web 広告等の広告宣伝活動を展開すると共に、迅速な在庫確保や価格調整に努めた結果、前年同期比減収減益ではあるものの、減収幅と比較し各利益面については小幅な減益にとどまっており、底堅い業績にて推移しております。

海外パソコン関連事業におきましては、欧州及び東南アジアにおける事業環境は引き続き不透明な状況が継続しているものの、現地におけるニーズに迅速に対応した製品・サービス投入等を行った結果、欧州モニタ事業が減収ではあるものの前年同期比で大幅な増益を達成し、当社グループ全体の業績を牽引すると共に、東南アジア事業についても引き続き前年同期比で増収増益が継続する等、とりわけ各利益面で期初予想を大幅に上回り順調に推移しております。

また、コロナ禍において赤字基調が継続していた総合エンターテインメント事業におきましても、順調に業績回復傾向を示しております。

このことから、期初予想策定時には、前年同期比減収減益を想定しておりましたが、各利益面では大幅な増益を達成し、さらには第二四半期（累計）としての過去最高の営業利益を達成する見込みとなりました。

なお、2024 年 3 月期通期連結業績予想につきましては現在精査中であり、今後修正が必要となった場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。